

2019年3月25日

各 位

株式会社 紀陽銀行

「コンサルティング営業室」の設置について

～コンサルティング業務の領域拡大～

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、事業者さまの経営課題解決を支援する体制を強化するため、2019年4月1日付で営業支援本部内に「コンサルティング営業室」を設置しますので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、これまでもお客さまの満足度向上を最優先としたリレバン型営業の展開により、地域の事業者さまの本業支援に取り組んでまいりました。当行ならびにグループ会社のノウハウを最大限に活用することで、今後更に事業者さまの核心的な課題の解決に貢献し、持続可能な地域社会の実現に努めてまいります。

記

1. 「コンサルティング営業室」について

営業支援本部内に「コンサルティング営業室」を設置し（現「ピクシス営業室」を改組）、専担者を配置することで、コンサルティング業務の統括ならびに機能強化を推進します。

2. コンサルティング業務の領域拡大について

経営者の高齢化による事業承継問題、生産年齢人口減少に伴う人材不足、新たなマーケット開拓としての海外進出、ICT活用による生産性向上や「働き方改革」への対応など、近年の中小企業の抱える課題は多方面にわたります。

当行は、これまで取り組んできた事業承継や海外進出支援等へのコンサルティング機能の強化を図るとともに、“当行グループ内に蓄積された専門業務のノウハウ”を最大限に活用することで、「人事・労務関連」「システム関連」「事業計画策定支援」のコンサルティング業務に積極的に取り組んでまいります。（具体的な業務内容は次表参照）

	具体的な業務内容
人事・労務関連	・ 人事評価制度の策定 ・ 賃金制度、退職金制度の設計 ・ 労働法への対応支援 等
システム関連	・ 効果的なグループウェアの導入 ・ クラウドシステムを活用した事務効率化 ・ 勤怠管理システム導入支援 等
事業計画策定支援	・ 事業計画、経営改善計画の策定支援 ・ 各種補助金、助成金情報の提供 等

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」につながる取り組みです。

